

第8回ふじた看図アプローチ研究会まとめ

日時：2024年5月31日（金）17:45～19:45

場所：藤田医科大学3号館6F643、Zoom

参加者：ふじかんメンバー（7人） 織田、加藤、近藤、東、小八重、朝居、中村
OMPU （2人） 内田、中原

ファシリテーター：中村

タイムキーパー：小八重

研究会は二部構成で実施した。

第一部では、テキスト『協同学習ツールのいかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』第4章「協同学習ツールのつくり方」の内容をLTD話し合い学習法に沿って学び合った。第二部では、ファシリテーターである中村が撮影した写真を見て、看図アプローチを用いて協同学習をした。

1. アイスブレイク

- 1) 初めての参加者が含まれていたため、所属、名前を述べた後に、①「ゴールデンウィークにやってよかったこと」②「今日の抱負」を一人1分ラウンドロビンで話した。合言葉は「いいですね～」であった。
- 2) 本日の3チームの名付けとその理由を発表し合った。「ピザ ラーメン」、「ザ・トラベラーズ」、「チーム109」の3チームができた。「ピザ ラーメン」はゴールデンウィークにチームメンバーが食べた料理であり、「ザ・トラベラーズ」はチームメンバーがゴールデンウィーク中に旅行したことからつけられ、「チーム109」はメンバー間の共通の研究室番号から名付けられた。

2. LTD話し合い学習法

LTDのStepに沿って、「言葉の理解」、「主張の理解」、「話題の理解」、「知識との関連づけ」、「自己との関連づけ」、「課題文の評価」を行った後、振り返りと全体発表を行った。各チームから「発問が先か、写真が先かを課題として今後考えていきたい」「『え！？』を引き出す発問を日頃から考えたい」「写真から読み解くには知識がないと難しい」といった発言が聞かれた。

3. 看図アプローチ

1) 変換

ファシリテーターが示した写真を見て、4分の間に「軽4トラック」「集落」「堤防」「岩」など21の「もの」があがった。

2) 要素関連づけ

「人が歩いている」「トラックが停まっている」「船が停留している」などがあがった。





3) 外挿

「写真左手前に写っている男性は、この後どうすると思いますか。そのように思う根拠をあげてください」の発問に対して、「写真の右奥に移っている3人のところに歩いていく」と答えた人が大半であった。ファシリテーターも写真を撮影している時にそのように感じてシャッターを切ったのであるが、実際は「左から2番目のボートに乗る」であり、予想外であったメンバーから「え!？」という声があがった。写真の男性が乗ったものとは違うボートではあるが、「赤い旗が立ったボートに乗る」と答えたメンバーが一人いて、拍手を浴びていた。



4. 振り返り

書くものが何もなくてもできる方法として、自分の表情と動作で表現してもらった。両手でハートを作る人、「感性!」と叫んで両手をあげて飛ぶ人、「なるほど」と言いながらガッテンポーズをする人など、独自の表現をしていた。



次回：7月12日（金）17:45～19:45 大学3号館643号室
第5章「協同学習ツールのいかし方」
ファシリテーター：加藤（睦）
タイムキーパー：朝居



文責：中村小百合

きゅうちゃん ayaki, tshida

